

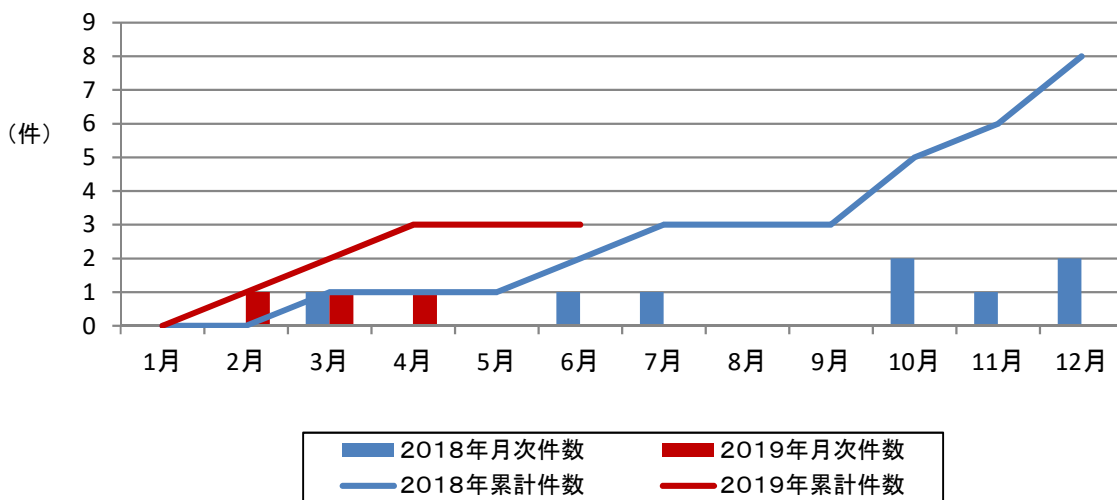
## 【2019年(令和元年)】

※数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。

### ガス事業法(ガス関係報告規則第4条)関連

事故の種別 (事象別)	2019年6月分				前月件数	前年同月 件数	2019年累計				2018年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
ガス工作物の損壊又は操作等による人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工事中のガス工作物の損壊又は操作等による人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
供給支障事故					0	0	1	0	0	0	2	0	0	0
製造支障事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガス工作物の損壊事故					0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
ガス漏洩による爆発又は火災事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
避難、家屋破損、交通困難等					0	0	1	0	0	0	5	0	0	0
消費機器使用に伴う人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費機器、ガス栓から漏洩したガスへの引火による事故					0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	8	0	0	0

### ガス事故発生件数



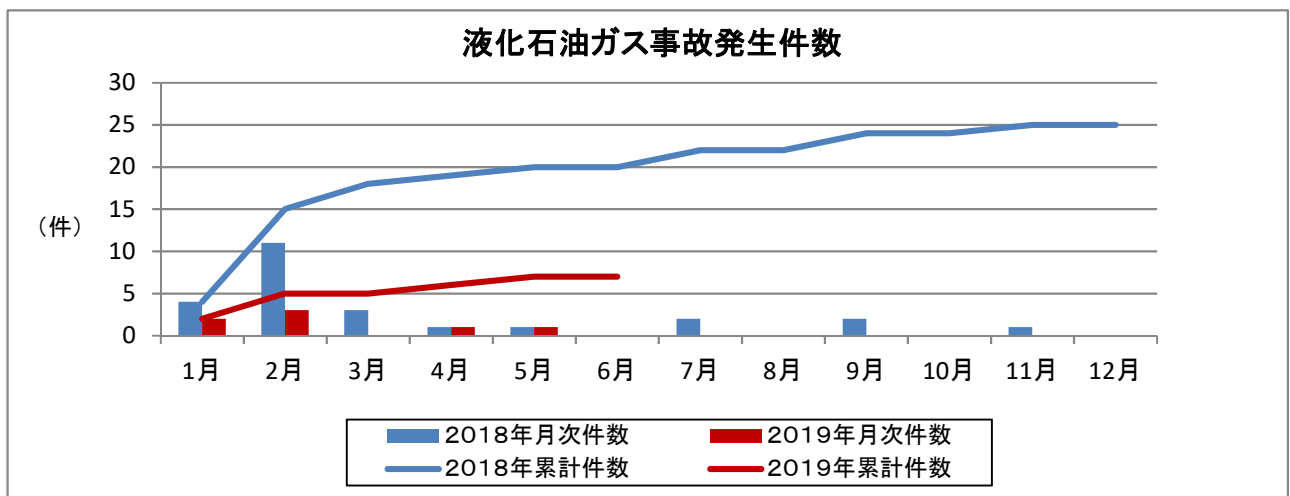
事故の種別 (段階別・事業別)		2019年6月分				前月件数	前年同月 件数	2019年累計				2018年累計			
		件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
			死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
製造段階	小売 (旧一般ガス)					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小売 (旧簡易ガス)					0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
供給段階	一般ガス導管 (旧一般ガス)					0	1	1	0	0	0	5	0	0	0
	小売 (旧簡易ガス)					0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
消費段階	小売 (旧一般ガス)					0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	小売 (旧簡易ガス)					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	8	0	0	0

### ○液化石油ガス保安法(液化石油ガス関係事故措置マニュアル)関連

事故の種別	2019年6月分(※2)				前月件数	前年同月 件数	2019年累計				2018年累計				
	件数	死傷者数					件数	死	重	軽	件数	死傷者数			
		死	重	軽								死	重	軽	
漏えい					0	0	2	0	0	0	7	0	0	0	
漏えい爆発					1	0	1	0	0	1	2	0	0	3	
漏えい火災					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中毒・酸欠					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	0	0	0	0	1	0	3	0	0	1	9	0	0	3	
雪害(※1)	漏えい					0	0	4	0	0	0	15	0	0	0
	漏えい爆発					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	漏えい火災					0	0	0	0	0	1	0	0	1	
合計	0	0	0	0	1	0	7	0	0	1	25	0	0	4	
容器の喪失又は盗難	1				2	1	9	0	0	0	18	0	0	0	

※1: 除雪、屋根からの雪下ろし等の人為的なものは含めていない。(人為的なものについては、一般事故として集計。)

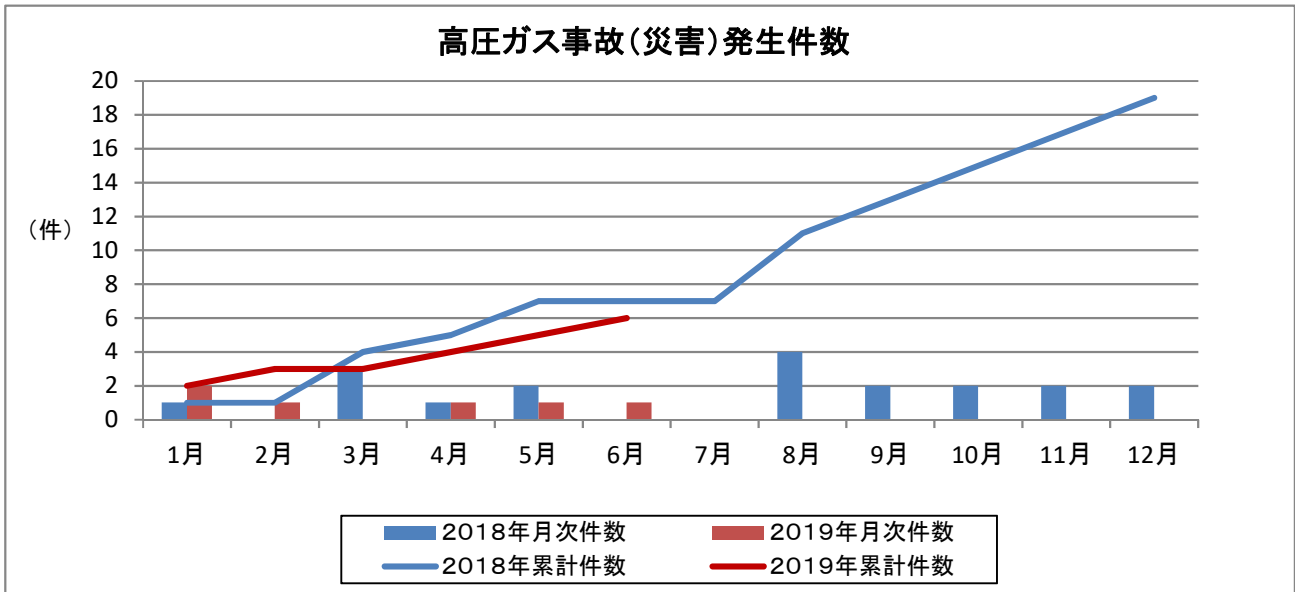
※2: 各県から速報のあったものを計上。



## ○高圧ガス保安法(高圧ガス保安法事故措置マニュアル)関連

事故の種別		2019年6月分(※2)				前月件数	前年同月 件数	2019年累計				2018年累計			
		件数	死傷者数					件数	死	重	軽	件数	死傷者数		
			死	重	軽								件数	死	重
災害	爆発	1		1	2	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0
	火災					0	0	1	0	0	0	2	0	0	1
	噴出・漏えい					1	0	4	0	0	0	17	0	0	0
	破裂・破損等					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		1	0	1	2	1	0	6	0	1	2	19	0	0	1
容器の喪失又は盗難		1				1	1	2	0	0	0	7	0	0	0
危険な状態						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		2	0	1	2	2	1	8	0	1	2	26	0	0	1

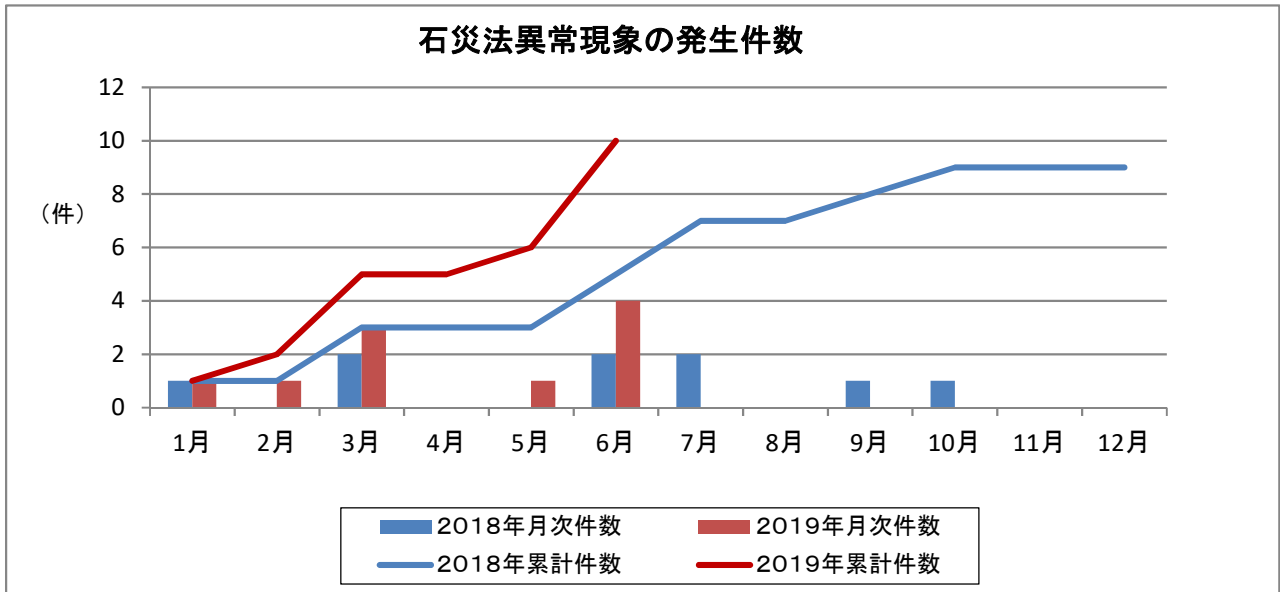
※3: 各県から速報のあったものを計上。



- ① 【発生年月日】 2019年6月27日  
 【場所(県名)】 福島県  
 【事業者区分】 第二種事業所  
 【事故の種別】 爆発  
 【事故の概要】 半導体関係製品製造事業所内のクリーンルームのガスボックス内で使用していたジシランガス用のガス精製器を、窒素置換50回実施後に取り外し、除害器内で保管していた。このガス精製器を処分するにあたり、再度窒素置換をしてから処分するために保管場所から持ち出し、クリーンルームに運ぶ途中でトイレに立ち寄り、精製器をトイレ内ライニング(壁面の小棚)に置いた際に爆発したもの。原因は、現在調査中。
- 【被害状況】 人的被害: 重傷者1名、軽傷者2名  
 物的被害: 事業所工場内トイレの照明、壁、天井等破損、書類焼損

○石油コンビナート等災害防止法(第23条第1項の異常現象)関連

異常現象の種別	2019年6月分				前月件数	前年同月 件数	2019年累計				2018年累計			
	件数	死傷者数					件数	死	重	軽	件数	死傷者数		
		死	重	軽								件数	死	重
出火	1				0	1	2	0	0	0	3	0	0	0
石油等の漏洩	3				1	1	8	0	0	0	6	0	0	0
その他					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	0	0	0	1	2	10	0	0	0	9	0	0	0

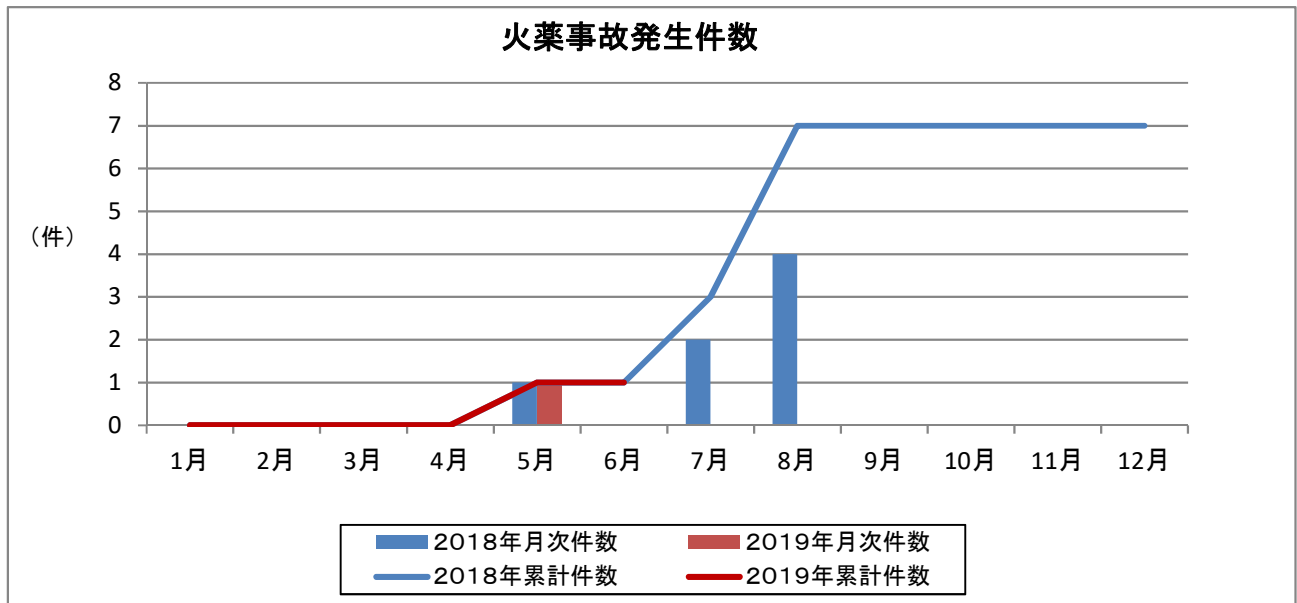


①	<p>【発生年月日】 2019年6月5日</p> <p>【場所(県名)】 福島県</p> <p>【事業者区分】 第一種事業所</p> <p>【事故の種別】 漏えい</p> <p>【事故の概要】 タービン建屋内において約100リットルの潤滑油が漏えいしたものの。潤滑油は従業員が回収し、消防が現場に到着したときは、漏えいは止まっており全量回収済みであった。原因は、配管の点検作業を行うため、軸受給油配管を外し、潤滑油系統のポンプを電源切にて作業を開始した。一方、別作業の準備のため、制御油系統のポンプを起動したところ、制御油系統から潤滑油系統に廻り込み、開放していた軸受給油配管から漏えいしたものの。</p> <p>【被害状況】 なし</p>
②	<p>【発生年月日】 2019年6月12日</p> <p>【場所(県名)】 山形県</p> <p>【事業者区分】 第一種事業所</p> <p>【事故の種別】 出火</p> <p>【事故の概要】 石油コンビナート等特別防災区域内の建物の解体作業中に、溶断作業による火花が敷地外の港湾道路脇の小草に着火し、約8㎡焼損したものの。作業員及び通りかかった移動タンク貯槽所の従業員が初期消火に対応。消防車両2台が出動したが、到着時は既に鎮火していた。</p> <p>【被害状況】 なし</p>
③	<p>【発生年月日】 2019年6月22日</p> <p>【場所(県名)】 山形県</p> <p>【事業者区分】 第二種事業所</p> <p>【事故の種別】 漏えい</p> <p>【事故の概要】 タービン給水処理室の浄水用塩酸タンクから防液槽に塩酸約400漏えいしたものの。消防署は、漏えいが停止しており、事業所職員が漏えいした塩酸全量を希釈処理して対処したことを確認した。原因は、給水処理場にある塩酸計量槽のダイヤフラム弁の弁座内面に施してあるゴムライニングが損傷し、その損傷個所から塩酸が侵入しブロー弁に破孔が生じたことによるもの。</p> <p>【被害状況】 なし</p>

- ④ 【発生年月日】 2019年6月26日  
【場所(県名)】 福島県  
【事業者区分】 第二種事業所  
【事故の種別】 漏えい  
【事故の概要】 接着剤工場の移液ポンプ更新工事終了後、タンクへ移液するとともに配管の漏れ有無を確認するために、ホルマリンを送液したところ、今回の工事にて接合した塩ビ配管接着部が外れて漏えいした。消防署は、漏えいが停止しており、自衛防災要員が漏えいしたホルマリンを水で希釈処理して対処済みであったことを確認した。原因は、現在調査中。  
【被害状況】 なし

### ○火薬類取締法(火薬類事故措置マニュアル)関連

取扱の種別	2019年6月分				前月件数	前年同月 件数	2019年累計				2018年累計					
	件数	死傷者数					件数	死	重	軽	件数	死傷者数				
		死	重	軽								死	重	軽		
製造中					0	0	0	0	0	0	0	0	0			
消費中					0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	2
運搬中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貯蔵中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がんろう中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他					1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	7	0	0	2



◆2019年の事故概要

○ガス事業法

発生日	場所(県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2019年4月13日	宮城県	一般ガス導管事業者	漏えい・交通困難	道路での異臭の通報により、ガス事業者が調査したところ、ガス漏れが検知されたため、周囲道路が3時間40分にわたり交通規制されたもの。供給管からのガス漏れを確認したため、プラグ止め措置がなされ、後日同管の入れ替えが実施された。原因は自然劣化によるもので、供給支障に至ったもの。	なし
2019年3月7日	宮城県	一般ガス導管事業者	漏えい・引火	需要家がガスコンロ周りを掃除した際に、ガス栓と常に接続していた炊飯器用の迅速継ぎ手の取り外しリングに接触したことによりガス栓との接続が不完全となった。このため微量のガスが漏出し、その状況下において、ガスコンロを使用したことによりコンロの火が漏出したガスに引火したものと推定される。	なし
2019年2月25日	青森県	ガス小売事業者(旧簡易ガス)	供給支障	特定製造所の非常用発電機の冷却水ヒーター一部の漏電により漏電ブレーカーが作動し、外部電源が喪失。非常用発電機のバッテリーの不具合により起動出来なかったため、電源が喪失し、温水式気化装置に温水を供給する温水ボイラー及び温水循環ポンプが停止した。温水式気化装置からのガス発生が出来なくなり、自然気化ラインからの供給に切り替わったが、能力不足から供給圧力が0.6kPaとなり、マイコンメーター側側の低圧ガス遮断装置が作動し、供給支障が生じたもの。	なし

○液化石油ガス保安法

発生日	場所(県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2019年5月14日	福島県	消費者	漏えい・爆発	飲食店の従業員がゆで麺機に点火した際、小爆発が起こり、当該従業員が軽傷(熱傷)を負った。通常は、末端ガス栓を開け、その後器具ガス栓を開けて点火し、閉店時は両ガス栓を閉じているが、当日は器具ガス栓が開いていた。原因は、器具ガス栓が開いているのに気づかず、末端ガス栓を開けた後、点火したことから、末端ガス栓を開けた際に漏えいしたガスに引火し、小爆発が起こったことによるもの。	軽傷1名
2019年4月17日	福島県	消費者	漏えい	消費者から販売店に対し、ガス料金が高いのではないかと連絡を受け、消費者宅を訪問した。点検の結果、屋外に設置してある給湯器内部から微量な漏えいが確認されたもの。原因は、屋外給湯器内部の電磁弁と配管のジョイント部のリングの劣化によるもので、リングを交換し、燃焼試験等により正常であることを確認した上で、ガス供給を再開した。	なし
2019年2月19日	山形県	消費者	漏えい	消費者から販売業者に、ガス漏れ警報器が鳴っている旨の通報があり、販売事業者は、消費者にLP容器のバルブを閉めるように指示。販売事業者が、雪に覆われていた配管を掘り起して現場を確認したところ、積雪の重みにより、消費側配管(横引き)が変形し、ソケット部分からガスが漏れていたもの。	なし
2019年2月17日	山形県	消費者	漏えい	消費者から販売業者に、ガスが出ない旨の通報があり、販売事業者が現場を確認したところ、融け始めた積雪の重みにより、消費側配管が変形し、エルボ部分に亀裂が入りガスが漏れ、流量超過によりメーター遮断されていたもの。	なし
2019年2月9日	山形県	消費者	漏えい	消費者から販売業者に、ガスが出ない旨の通報があり、販売事業者が現場を確認したところ、消費側の配管(横引き)に屋根から雪が落ちて配管が歪み、エルボねじ込み部分からガスが漏えいし、流量超過によりメーター遮断されていたもの。	なし
2019年1月27日	山形県	消費者	漏えい	消費者から、ガスが出ないとの連絡を受けた販売事業者が、現場を確認したところ、ガスメーターのユニオンの下流側の配管が損傷し、外れていたもの。原因は、屋根の水が落ち、配管を直撃したものと推定される。	なし
2019年1月7日	宮城県	消費者	漏えい	店内清掃中の作業員がガス臭がしたため消防に通報。ロースターテーブルからガスが漏えいしていたもので、消防で完全に閉止していない器具栓つまみを閉じてガスを止めたもの。当該テーブルには立消え安全装置が取り付けられていたが、故障により作動しなかった。	なし

○高圧ガス保安法

発生日	場所(県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2019年6月27日	福島県	第2種事業所	爆発	半導体関係製品製造事業所内のクリーンルームのガスボックス内で使用していたジシランガス用のガス精製器を、窒素置換50回実施後に取り外し、除害器内で保管していた。このガス精製器を処分するにあたり、再度窒素置換をしてから処分するために保管場所から持ち出し、クリーンルームに運ぶ途中でトイレに立ち寄り、精製器をトイレ内ライニング(壁面の小棚)に置いた際に爆発した。原因は、現在調査中。	人的被害:重傷者1名、軽傷者2名 物的被害:事業所工場内トイレの照明、壁、天井等破損、書類焼損
2019年5月10日	秋田県	製造事業所	漏えい	液化水素漏洩・着火試験設備液化水素加圧ポンプの吐出液配管の保護ベローズから水素が微小漏えいした。原因は、液化水素が存在する外側の空間と本来ヘリウムガス空間である内側の空間との間のシール力が弱まり、液化水素が内側の空間に侵入したことで、内側空間の圧力が過剰となり、最も耐圧性能の低いベローズ部が水素漏洩を起こしたと推測される。	なし
2019年4月26日	青森県	配送会社	漏えい	LPガス容器配送業者が、13トトラックに153本積載して輸送中にブレーキをかけたところ、左前方のアオリが外れ、25本(50kg×19本、30kg×2本、20kg×4本)が路上に落下・散乱し、うち50kg容器2本から漏洩した。原因は、車両へ積載する際、ラッシングベルトによる容器の固定が不十分であったこと等の状況でブレーキを踏んだ際に、荷崩れが発生し容器がぶつかった衝撃で、あおりのフックがはずれたことによるもの。	なし
2019年2月26日	青森県	製造事業所	火災	液化石油ガスを消費している一般廃棄物(可燃ゴミ)焼却施設の炉においてバーナーから出火。当該バーナー等を消火し、ゴミ供給を停止し、炉を緊急停止するとともに、消防へ通報し窒素置換し鎮火を確認した。当該バーナーの酸素管及び液化石油ガス管が消失しているため原因の特定は困難であるが、バーナー先端の閉塞などにより酸素と液化石油ガスがバーナー内で混合し、炉内の高温物が着火源となって異常燃焼に至り、溶損したバーナーボディから炉内ガスが噴出したものと推定される。	物的被害:酸素バーナーボディ、酸素バーナー管他
2019年1月8日	宮城県	大学	漏えい	新規高圧ガス消費設備(届出不要)の立ち上げ作業中、実ガス(塩素ガス)での検証を行っていたところ、消費後のガスを真空ポンプで除害装置へ送る設計になっていたが、除害装置へ廃棄ラインが接続されておらずガスがクリーンルーム内に漏えいした。原因は、検証前に全配管の接続状況が確認できていないまま、ガスを流したことによるもの。	なし
2019年1月24日	岩手県	自治体	漏えい	保守管理業者による定期点検において、ロードヒーティング施設を点検中に、熱交換器配管の一部が破損(亀裂)し、高圧ガス(フルオロカーボン)が漏えいしていることを確認したため、直ちに施設の運転を停止した。当該施設の修理時期は現在のところ未定。	なし

○石油コンビナート等災害防止法

発生年月日	場所(県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2019年6月26日	福島県	第2種事業所	漏えい	接着剤工場の移液ポンプ更新工事終了後、タンクへ移液するとともに配管の漏れ有無を確認するために、ホルマリンを送液したところ、今回の工事にて接合した塩ビ配管接着部が外れて漏えいした。消防署は、漏えいが停止しており、自衛防災要員が漏えいしたホルマリンを水で希釈処理して対処済みであったことを確認した。原因は、現在調査中。	なし
2019年6月22日	山形県	第2種事業所	漏えい	タービン給水処理室の浄水用塩酸タンクから防液槽に塩酸約40ℓ漏えいした。消防署は、漏えいが停止しており、事業所職員が漏えいした塩酸全量を希釈処理して対処したことを確認した。原因は、給水処理場にある塩酸計量槽のダイヤフラム弁の弁座内面に施してあるゴムライニングが損傷し、その損傷箇所から塩酸が侵入しブロー弁に破孔が生じたことによるもの。	なし
2019年6月12日	山形県	第1種事業所	出火	石油コンビナート等特別防災区域内の建物の解体作業中に、溶断作業による火花が敷地外の港湾道路脇の下草に着火し、約8㎡焼損した。作業員及び通りかかった移動タンク貯槽所の従業員が初期消火に対応。消防車両2台が出動したが、到着時は既に鎮火していた。	なし
2019年6月5日	福島県	第1種事業所	漏えい	タービン建屋内において約100リットルの潤滑油が漏えいした。潤滑油は従業員が回収し、消防が現場に到着したときは、漏えいは止まっており全量回収済みであった。原因は、配管の点検作業を行うため、軸受給油配管を外し、潤滑油系統のポンプを電源切にて作業を開始した。一方、別作業の準備のため、制御油系統のポンプを起動したところ、制御油系統から潤滑油系統に廻り込み、開放していた軸受給油配管から漏えいした。	なし
2019年5月22日	福島県	第2種事業所	漏えい	硝酸が充填された樹脂ドラムをフォークリフト(ドラムクリッパでつかみ上げ)で運搬中に、路面のヘコミを通過した際に落下し、ドラム底板を破損し硝酸が漏えいした。中和・洗浄液を含めて全量回収し、外部への流出はなかった。原因は、路面のヘコミを通過した際に上下に揺れ、またドラム重量が軽かったためドラムクリッパのロックが外れやすくなっていたことも重なり、ドラムクリッパのツメ部から樹脂ドラム(最長6年使用で、底板に劣化が見られた)が外れて落下し、その衝撃で底板が破損し漏えいしたものと推定される。	なし
2019年3月19日	福島県	第2種事業所	漏えい	配管置換作業(配管内を低濃度ホルマリンで置換)のために遠隔操作弁を開放したが、本来は操作しない弁も誤って開放したため、接続するタンク上にホルマリンが流入し、タンク上部マンホールからホルマリンがオーバーフローし、防液堤に0.7㎡漏えいした。防液堤内に漏洩したホルマリンを排水タンクへ全量回収し、防液堤内を水洗いした水洗液も排水タンクへ回収した。	なし
2019年3月12日	福島県	第2種事業所	出火	銅の精製作業を行う精製工場において、炉を動作させるモーターへの給電配線から出火し、当該電気配線の被覆及び配線ラックが焼損した。原因は現在調査中。	物的被害:電気ケーブル、ケーブルダクト他
2019年3月11日	福島県	第1種事業所	漏えい	屋外タンク貯蔵所のタンクを休止するために、同タンクから別のタンクへの油の移送開始後、定期の巡回で、移送先のタンク側の配管から、C重油が防液堤内に漏えいしているのを発見し、バルブ操作により漏えい防止措置を講じた。原因は調査中であるが、配管の2箇所に漏えい箇所と思われるピンホールを確認し、応急措置として、ピンホールにカップリングを設置した。また、配管内にある残油をポンプを使用してタンクへの移送を完了するとともに、防液堤の汚染土壌の回収を完了した。防液堤内の漏えい量は約150リットル。	なし
2019年2月27日	宮城県	第1種事業所	漏えい	製油所構内のタンク附属配管から油(精製処理前の灯油)が地上に漏えいしているのを確認したため、直ちに当該配管の上流4カ所のバルブを閉止するとともに消防局へ通報した。漏えいした灯油は微量であり、漏えい箇所の下にある地面(砂)(防液堤内)に染みこむ程度であった(灯油漏えい量は調査中)。漏えい箇所は開口部(1箇所、口径1mm程度)であり、原因は配管側面の内面腐食によるものと推定される。	なし
2019年1月29日	福島県	第1種事業所	漏えい	職員が地上側溝に油脂類が流出しているのを確認し、消防本部に通報。調査の結果、指定屋外タンク貯蔵所の浮屋根に油脂類(重油)がしみ出て、浮屋根の排水管から、防液堤内の地上の側溝に流れ出た。排水口をフランジで塞ぐ応急対策を実施。	なし

○火薬類取締法

発生年月日	場所(県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2019年5月6日	宮城県	煙火	その他	2019年5月6日、水田にて耕作中の作業員が代掻き中に水田内水面に黒玉が浮いているのを発見し、地元消防出張所へ持参。黒玉発見箇所は、平成31年1月に開催の花火大会の会場跡で、持参時の黒玉の経時劣化状況から、当該花火大会にて発生した黒玉と推測されるもの。	なし